



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月7日

上場会社名 株式会社ファルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4671 URL http://www.falco-hd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安田 忠史
 問合せ先責任者 (役職名) 管理室 (氏名) 黒田 修平 TEL 075-257-8585
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 平成30年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	22,082	△3.7	710	△40.1	869	△30.4	526	△33.3
30年3月期第2四半期	22,934	△1.3	1,185	14.0	1,248	15.3	789	17.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 478百万円 (△47.3%) 30年3月期第2四半期 906百万円 (35.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	48.26	48.12
30年3月期第2四半期	72.70	72.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	32,269	19,377	59.7
30年3月期	32,656	19,081	58.2

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 19,271百万円 30年3月期 19,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	20.00	—	24.00	44.00
31年3月期	—	23.00	—	—	—
31年3月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

30年3月期期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	△2.1	2,100	△5.0	2,200	△7.8	1,400	△17.5	128.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	11,280,177株	30年3月期	11,280,177株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	356,734株	30年3月期	387,414株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	10,909,522株	30年3月期2Q	10,864,273株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、米国の保護主義的な通商政策や金融資本市場の変動等の影響が懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く受託臨床検査市場では、医療費抑制に向けた取り組みが進められるなか、同業他社間の競争が激化しており、厳しい事業環境が続いております。また、調剤薬局市場では、平成30年4月に実施された調剤報酬及び薬価の改定において、特定の医療機関からの処方箋集中率が高い薬局の調剤基本料の引き下げや薬価の引き下げ等が行われ、厳しい事業環境となっております。

当社グループでは、このような事業環境のもと、臨床検査事業及び調剤薬局事業の収益力の強化を図るとともに、将来の事業環境の変化を見据えた事業展開を進めております。

当第2四半期連結累計期間においては、調剤薬局事業での調剤報酬及び薬価の改定の影響が大きく、売上高は22,082百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は710百万円(同40.1%減)、経常利益は869百万円(同30.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は526百万円(同33.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業につきましては、営業活動の強化により新規顧客の獲得を図るとともに、生産性の向上及びコスト競争力の強化に取り組んでおります。また、中小規模病院向けのクラウド型電子カルテ「HAYATE/NEO」の販売強化に取り組んでおります。

臨床検査事業においては、電子カルテ「HAYATE/NEO」の売上が増加したものの、夏以降の猛暑や豪雨・台風等の天候不順の影響により、臨床検査の受託検体数が伸び悩んだことにより、売上高は13,778百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益は516百万円(同16.9%減)となりました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業につきましては、堅実な店舗運営を推進しつつ、既存店舗の処方箋応需の拡大及び店舗運営の効率化に取り組んでおります。また、かかりつけ薬剤師・薬局として求められる役割・機能を果たすとともに、高齢者施設及び在宅を中心とした地域医療との連携を進めております。

当第2四半期連結累計期間において、1店舗を開局、2店舗を閉局したことにより、当第2四半期連結会計期間末における当社グループが運営する調剤薬局店舗総数は110店舗(フランチャイズ店5店舗含む)となりました。

調剤薬局事業においては、平成30年4月に実施された調剤報酬及び薬価の改定の影響が大きく、処方箋単価が低下したことにより、売上高は8,312百万円(前年同期比7.7%減)、営業利益は296百万円(同55.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、主に売掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ387百万円減少し、32,269百万円となりました。

負債は、主に買掛金や未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ683百万円減少し、12,891百万円となりました。

また、純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ295百万円増加し、19,377百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,391	8,373
受取手形及び売掛金	6,869	6,012
商品及び製品	904	1,079
仕掛品	92	115
原材料及び貯蔵品	403	390
その他	1,198	1,191
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	17,853	17,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,253	9,269
減価償却累計額	△5,666	△5,727
建物及び構築物(純額)	3,587	3,542
土地	4,589	4,775
リース資産	507	507
減価償却累計額	△445	△457
リース資産(純額)	61	49
その他	7,107	7,171
減価償却累計額	△6,285	△6,232
その他(純額)	822	938
有形固定資産合計	9,060	9,306
無形固定資産		
のれん	42	33
その他	491	497
無形固定資産合計	533	530
投資その他の資産		
その他	5,219	5,294
貸倒引当金	△9	△19
投資その他の資産合計	5,209	5,274
固定資産合計	14,803	15,111
資産合計	32,656	32,269

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,685	4,225
短期借入金	1,925	1,925
未払法人税等	476	359
賞与引当金	568	586
その他	2,207	2,236
流動負債合計	9,863	9,332
固定負債		
長期借入金	550	465
引当金	167	181
退職給付に係る負債	1,956	1,919
資産除去債務	139	147
その他	897	844
固定負債合計	3,711	3,558
負債合計	13,575	12,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,371	3,371
資本剰余金	3,391	3,391
利益剰余金	12,360	12,617
自己株式	△616	△567
株主資本合計	18,506	18,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	505	457
その他の包括利益累計額合計	505	457
新株予約権	69	106
純資産合計	19,081	19,377
負債純資産合計	32,656	32,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	22,934	22,082
売上原価	15,962	15,576
売上総利益	6,971	6,506
販売費及び一般管理費	5,786	5,795
営業利益	1,185	710
営業外収益		
受取配当金	34	34
貸倒引当金戻入額	1	0
受取補償金	—	80
その他	38	54
営業外収益合計	74	169
営業外費用		
支払利息	5	5
支払手数料	2	2
その他	2	2
営業外費用合計	11	10
経常利益	1,248	869
特別利益		
投資有価証券売却益	23	—
事業譲渡益	14	7
特別利益合計	38	7
特別損失		
固定資産除却損	17	10
減損損失	1	—
特別損失合計	19	10
税金等調整前四半期純利益	1,267	866
法人税、住民税及び事業税	378	332
法人税等調整額	99	7
法人税等合計	477	339
四半期純利益	789	526
親会社株主に帰属する四半期純利益	789	526

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	789	526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	116	△48
その他の包括利益合計	116	△48
四半期包括利益	906	478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	906	478

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,929	9,005	22,934	—	22,934
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	0	7	△7	—
計	13,936	9,005	22,942	△7	22,934
セグメント利益	621	657	1,278	△93	1,185

(注) 1. セグメント利益の調整額△93百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△661百万円及び内部取引の消去に伴う調整額567百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,770	8,311	22,082	—	22,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	0	7	△7	—
計	13,778	8,312	22,090	△7	22,082
セグメント利益	516	296	812	△102	710

(注) 1. セグメント利益の調整額△102百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△637百万円及び内部取引の消去に伴う調整額535百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。